



進路だより

～7・6・5年後の君達を応援します～

第2号

2010年4月30日(金)

茨城県立並木高等学校

進路指導部

授業第一主義

GWに入りました。新年度になり、授業の「波」に乗れた人、のりそびれている人。これまでの学習内容をこの時期に振り返ってみましょう。確かに、高校生ですから「遊び」も高校生活を充実させるためには重要な要素です。しかし、それは学業がきちんとこなされていることが条件になっていることを忘れないでください。7月までに家庭学習の習慣が身につくかどうかは今後の大学入試にまで影響します。部活動にも積極的に取り組み、帰宅後は頭を切り換えてください。2・3年生の皆さん、目の前に出された課題からは目を背けずに、真摯に取り組んでいきましょう。

大切なモノ

春休みが終わったにもかかわらず、未だに課題に追われている人はいませんか？課題、ここでは「宿題」と言っていきます。「宿題」は、現在学習している内容を補完するうえでは欠かせないものであり、授業で「聞いた・習った」ことを「自力」で考える大切な場面となります。そのためにかかる時間は人それぞれなので、どのくらいの時間が必要かとは一概には言えません。授業において、さらに内容を深めていくために、自分で勉強してみることを勧めます。

成功・失敗を見てきた人

教員

成功・失敗を3月に実感する人

受験生

現実を知っている人・知らない人

あなた

以下は平成22年度入試で指導された先生方の感想です。

- ・難関私立大学は本当に「難関」
- ・MARCHに受かる人は、早稲田・慶応に届く可能性のある人しか受からなかった。
- ・入試傾向の多様化により、2月個別入試の定員が減って難化傾向。
- ・日東駒専も文系はなかなか難しい。
- ・部活動が終わるまでは日々の授業を大切に課題を『きちんと』こなすこと。
- ・高校半ばから塾に流れた生徒はことごとく失敗している。一日のどれくらいを学校で過ごしているのか。
- ・私立大学志望なのにも関わらず、受験科目をさらに絞ろうとすると失敗する。古文・漢文を捨てる等。

今できること

：学習時間は十分か？今後の学習時間を考えよう。

帰宅してから寝るまではどのくらい時間がある？例 19：00帰宅 ～24：00就寝

この **5時間** をどのように使うかがポイントです。

提案 学習開始時間を一定にしましょう。 例 20：00～

今年の卒業生の言葉をおくります

さて、進学校の生命線は授業です。毎年、塾にも予備校にも通わず多くの先輩が大学に合格しています。難関大学に合格する生徒ほど授業への集中度が高く、1時間1時間の授業を大切にしています。毎日の授業を確実にこなすことが、自分の目標を達成する最良・最高の手段と心得るべきです。春は何かと落ち着かない季節、授業に集中し自分の日常生活のペースを一日も早く取り戻しましょう。

受験を終えて

小テストをないがしろにしてしまった。
準備不足で到達度テストに臨んでしまった。
勉強はしていたけれど、気持ちが入ったのが遅かった。
1・2年から数学の基本をしっかりとやっておくべきだった。
1・2年生で英単語や古文単語はしっかりとやること。
塾や予備校に頼りきった学習方法は精神的に安心するだけで真の実力はつかなかった。
後悔している。
受験教科は減らしてしまったために選択肢を狭めてしまった。

部活動と受験は両立するか

部活動はやっても問題なし。
部活動をやっているひとは、定期試験・到達度テストにむけてしっかり勉強すべき。
部活動を理由に勉強をやらなかった。逃げの口実にしないこと。
勉強を理由に部活動をやめた人は、たいてい失敗する。

合格者の傾向

とにかく教科書と学校の問題集をやりこなす。
英語ができないと文系にも理系にも入れない。
数学は、学習習慣で成功と失敗の差が大きく開く。
高校生活を積極的に送る。
人の話を素直に聞く。



予習→授業→復習

器用貧乏

言葉自体は、悪口に聞こえます。「あなたは器用だね」に「貧乏」というネガティブな言葉がついてしまうのですから。だからこそ悪口や皮肉というより、短期的な戒めの言葉として使いたいですね。そこそこの力はあるのに何をやっても大成できないということは、可能性が多いがゆえに、移り気で根気不足になるという要素もあるわけで、裏を返せば、「何でもそこそこはできるので、打ち込む根気さえあれば成功する多くの可能性を持っている人」ともいえます。よって、「あなたは器用貧乏なのだから、すぐにあらめないでひとつのことに打ち込みなさい」

これは、高校生にとっては、目の前にある“課題”から目を背けずに真摯に取り組んでみませんか、という解釈も可能になってきます。あなたは「器用」ですか？「器用貧乏」ですか？

語義：なまじ器用なために、あれこれと気が多く、また都合良く使われて大成しないこと。(広辞苑 第五版) 何事も一応はうまくできるために一事に徹底できず、かえって大成しないこと。また、そのような人。(デジタル大辞林)

□■□ 4月～5月の進路関係行事予定 □■□

5月 8日(土) 土曜学習会

18日～20日 高校定期テスト1